

【臨床・研究】

山陰の市中病院に勤務する呼吸器内科医の 生活の質 (QoL) の検討

かわ	さき	ゆう	じ	やま	さき	せい	じ	やな	がわ	たかし	
河	崎	雄	司 ¹⁾	山	崎	整	児 ²⁾	柳	川	崇 ³⁾	
や	の	しゅう	いち ⁴⁾	かた	やま		さとる ⁵⁾	こ	にし	たつ	や
矢	野	修		片	山			小	西	龍	也 ⁶⁾
か	とう	かず	ひろ ⁷⁾	ふじ	い	よし	ひろ ⁸⁾	や	じま	ひろ	き
加	藤	和		藤	井	義		矢	島	浩	樹 ⁸⁾
やま	もと	よし	まる ⁹⁾	すぎ	もと	ゆう	じ ¹⁰⁾	こ	たに	まさ	ひろ ¹¹⁾
山	本	芳		杉	本	勇		小	谷	昌	
さか	た	たく	や ¹²⁾								
阪	田	拓									

キーワード：市中病院，呼吸器内科医，生活の質 (QoL)

要 旨

山陰地区の市中病院に常勤する呼吸器内科医の生活の質 (QoL) を SF-36v2 のアンケートを用いて調べた。呼吸器内科医全体での心の健康，活力の QoL は血液内科医を除く他科内科医とくらべて明らかな差を認めなかった。しかし，常勤の呼吸器内科医が 1 名や 2 名と少ない病院での呼吸器内科医の心の健康や活力などの QoL は明らかに悪化していた。市中病院に常勤する呼吸器内科医の QoL を向上させるためには，1 名や 2 名の常勤体制を回避する必要があるように思われた。

目 的

近年の人口の高齢化に伴い肺癌，肺炎，慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患が増加している。しかし，これらの診断，治療を行う市中病院勤務の呼吸器内科医の絶対数は全国的に不足している¹⁾。

常勤する医師の不足は同僚医師の生活の質 (QoL) の低下に結びつくことが推測される。QoL の低下は医師の退職に繋がる可能性もあり，常勤する呼吸器内科医の QoL の実態を知ることが重要と思われる。そこで，山陰の市中病院に常勤する呼吸器内科医の QoL を他科内科医の QoL と比較しながら調べた。また，呼吸器内科医の QoL に及ぼす常勤体制の影響についても調べた。

対象と方法

2006年8月から9月にかけて山陰地区の14ヶ所 (図1) の市中病院に常勤する呼吸器内科医と他

Yuji KAWASAKI et al.

- 1) 松江赤十字病院呼吸器内科
- 2) 益田赤十字病院呼吸器内科
- 3) 浜田医療センター呼吸器科
- 4) 国立病院機構松江病院呼吸器科
- 5) 公立八鹿病院内科
- 6) 松江市立病院呼吸器内科
- 7) 山陰労災病院呼吸器内科
- 8) 済生会境港総合病院内科
- 9) 鳥取県立厚生病院呼吸器内科
- 10) 鳥取県立中央病院内科
- 11) 鳥取大学医学部分子制御内科
- 12) 加東市民病院呼吸器科

連絡先：〒690-8506 松江市母衣町200番地